

参考

優先順位の高い照明区画から
床面積を入力していきます
……(50%以上になるまで)

入力必須
入力不要(自動計算)

(注) 上表は照明ポイント法の計算結果の中身を確認しやすくするために独自に作成したものであり、建築確認申請時に提出しなければならない公的な書類ではありません。

照明設備に係るエネルギーの効率的利用（ポイント法の面積加重平均と最終ポイントの算定）

2枚目

	項目	措置状況		配点	得点	措置の概要	備考
(1)照明器具の照明効率	光源の種類	蛍光ランプ(コンパクト型の蛍光ランプを除く。)	総合効率が100 lm / W以上のものを採用	12	-		1 「総合効率」とは、蛍光ランプの全光束を蛍光ランプと安定器の消費電力の和で除した数値 2 「LED型ランプ」とは、電圧を加えた際に発光する半導体素子を用いたランプをいう。
			総合効率が90 lm / W以上100 lm / W未満のものを採用	6			
		コンパクト型の蛍光ランプ、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプを採用		6			
		LED型ランプを採用		6			
		上記に掲げるもの以外		0			
	照明器具の器具効率	下面開放器具	0.9以上	12	-		1 「器具効率」とは、照明器具から出る総光束(単位 lm)を蛍光ランプ、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプの定格光束(単位 lm)で除した数値とする 2 「下面開放器具」とは、下面にカバー等が付いていないものをいう。 3 「下面カバー付器具」とは、下面に透光性カバーが付いたものをいう。
			0.8以上0.9未満	6			
			0.8未満	0			
		ルーバ付器具	0.75以上	12			
			0.6以上0.75未満	6			
			0.6未満	0			
		下面カバー付器具	0.6以上	12			
			0.5以上0.6未満	6			
			0.5未満	0			
	上記に掲げるもの以外		0				
(2)照明設備の制御方法	7種類の制御方法のうち3種類以上を採用		22	-		7種類の制御の方法(カード、センサー等による在室探知制御、明るさ感知による自動点滅制御、適正照度制御、タイムスケジュール制御、昼光利用照明制御、ゾーニング制御及び局所制御のことをいう。)	
	7種類の制御方法のうち1種類又は2種類を採用		11				
	上記に掲げるもの以外		0				
(3)照明設備の配置、照度の設定及び室内装仕上の選定	照明設備の配置、照度の設定	事務室の用途に供する照明区画の面積の9割以上に対してTAL方式を採用		22	-		「TAL方式」とは、タスク・アンビエント照明方式をいう。
		事務室の用途に供する照明区画の面積に対して5割以上9割未満に対してTAL方式を採用		11			
		上記に掲げるもの以外		0			
	室等の形状の選定	室指数が5.0以上		12	-		室指数 $K = X \times Y / H \times (X + Y)$
		室指数が2.0以上5.0未満		6			
		上記に掲げるもの以外		0			
	3～5枚目の照明区画面積の合計が自動的に入力されます	天井面の反射率が50%以上		12	-		「反射率」とは、天井面、壁面及び床面における個々の部材の反射率をそれぞれ面積加重平均したものとす。
		天井面の反射率が30%以上50%未満、かつ、床面の反射率が10%以上		6			
		上記に掲げるもの以外		0			
照明区画の面積 *		1620㎡	ポイント(点数の合計)	(A)	20.2	照明区画が二以上ある場合は、照明区画毎に別葉で作成し、* を記入する。	
		補正点	(B)	80	100以上ならOK		
		ポイント ** (A) + (B)	100.2				

3～5枚目の照明区画面積の合計が自動的に入力されます

100以上ならOK

照明設備に係るエネルギーの効率的利用 (照明区画1: 執務室)

3枚目

項目	措置状況	配点	得点	措置の概要	備考
(1)照明器具の照明効率	光源の種類	総合効率が100 lm / W以上のものを採用	12	1枚目の照明区画1の名称がコピーされます	1 「総合効率」とは、蛍光灯の全光束を蛍光灯と安定器の消費電力の和で除した数値 2 「LED型ランプ」とは、電圧を加えた際に発光する半導体素子を用いたランプをいう。
		総合効率が90 lm / W以上100 lm / W未満のものを採用	6		
		コンパクト型の蛍光灯ランプ、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプを採用	6		
		LED型ランプを採用	6		
		上記に掲げるもの以外	0		
	照明器具の器具効率	下面開放器具	0.9以上	12	1 「器具効率」とは、照明器具から出る総光束(単位 lm)を蛍光灯、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプの定格光束(単位 lm)で除した数値とする 2 「下面開放器具」とは、下面にカバー等が付いていないものをいう。 3 「下面カバー付器具」とは、下面に透光性カバーが付いたものをいう。
	0.8以上0.9未満	6			
	0.7未満	0			
[器具効率・総合効率の調べ方] http://denko.panasonic.biz/Ebox/catalog/ 「品番で探す」タブの空白欄に該当の品番を入力し、検索をクリックしてください。 該当品番の「詳細を見る」をクリックしてください。 「配光データ」より器具効率・「小组」より総合効率を参照してください。				12	
	上記に掲げるもの以外	0			
(2)照明設備の制御方法	7種類の制御方法のうち3種類以上を採用	22	0		7種類の制御の方法(カード、センサー等による在室探知制御、明るさ感知による自動点滅制御、適正照度制御、タイムスケジュール制御、昼光利用照明制御、ゾーニング制御及び局所制御のことをいう。)
	7種類の制御方法のうち1種類又は2種類を採用	11			
	上記に掲げるもの以外	0			
(3)照明設備の配置、照度の設定及び室内装仕上の選定	照明設備の配置、照度の設定	事務室の用途に供する照明区画の面積の9割以上に対してTAL方式を採用	22	0	「TAL方式」とは、タスク・アンビエント照明方式をいう。
		事務室の用途に供する照明区画の面積に対して5割以上9割未満に対してTAL方式を採用	11		
		上記に掲げるもの以外	0		
	室内装仕上の選定	室指数が5.0以上	12	0	室指数 $K = X \times Y / H \times (X + Y)$ $= \frac{0.0 \times 0.0}{0 \times (0.0 + 0.0)}$ $= \#DIV/0!$ X= 室の間口(m) Y= 室の奥行(m) H= 作業面から照明器具までの高さ(m)
		室指数が2.0以上5.0未満	6		
		上記に掲げるもの以外	0		
	反射率が50%以上	12	0	「反射率」とは、天井面、壁面及び床面における個々の部材の反射率をそれぞれ面積加重平均したものとす。	
	反射率が30%以上50%未満、かつ、床面の反射率が10%以上	6			
	上記に掲げるもの以外	0			
照明区画の面積 *	1200m ²	ポイント(点数の合計)	(A)	24	照明区画が二以上ある場合は、照明区画毎に別葉で作成し、* を記入する。
		補正点	(B)	80	照明区画が二以上ある場合の ** は、照明区画毎のポイント(A)の合計を面積加重平均した数値とする。
		ポイント ** (A) + (B)			

照明設備に係るエネルギーの効率的利用（照明区画2 執務室）

4枚目

	項目	措置状況	配点	得点	措置の概要	備考		
(1)照明器具の照明効率	光源の種類	総合効率が100 lm / W以上のものを採用	12	6	1枚目の照明区画2の名称がコピーされます	1 「総合効率」とは、蛍光灯ランプの全光束を蛍光灯ランプと安定器の消費電力の和で除した数値 2 「LED型ランプ」とは、電圧を加えた際に発光する半導体素子を用いたランプをいう。		
		総合効率が90 lm / W以上100 lm / W未満のものを採用	6					
		コンパクト型の蛍光灯ランプ、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプを採用	6					
		LED型ランプを採用	6					
		上記に掲げるもの以外	0					
	照明器具の器具効率	下面開放器具 0.9以上 0.8以上0.9未満 0.8未満	12 6 0	6	照明区画2のポイントを選択します	1 「器具効率」とは、照明器具から出る総光束(単位 lm)を蛍光灯ランプ、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプの定格光束(単位 lm)で除した数値とする 2 「下面開放器具」とは、下面にカバー等が付いていないものをいう。 3 「下面カバー付器具」とは、下面に透光性カバーが付いたものをいう。		
[器具効率・総合効率の調べ方] http://denko.panasonic.biz/Ebox/catalog/ 「品番で探す」タブの空白欄に該当の品番を入力し、検索をクリックしてください。 該当品番の「詳細を見る」をクリックしてください。 「配光データ」より器具効率・「小組」より総合効率を参照してください。								
(2)照明設備の制御方法	7種類の制御方法のうち3種類以上を採用 7種類の制御方法のうち1種類又は2種類を採用 上記に掲げるもの以外	0 11 0	0			7種類の制御の方法(カード、センサー等による在室探知制御、明るさ感知による自動点滅制御、適正照度制御、タイムスケジュール制御、昼光利用照明制御、ゾーニング制御及び局所制御のことをいう。)		
		22 11 0						
		0						
(3)照明設備の配置、照度の設定及び室内装仕上の選定	照明設備の配置、照度の設定	事務室の用途に供する照明区画の面積の9割以上に対してTAL方式を採用 事務室の用途に供する照明区画の面積に対して5割以上9割未満に対してTAL方式を採用 上記に掲げるもの以外	22 11 0	0		「TAL方式」とは、タスク・アンビエント照明方式をいう。		
		室等の形状の選定	室指数が5.0以上 室指数が2.0以上5.0未満 上記に掲げるもの以外				12 6 0	室指数 = $\frac{0.0 \times 0.0}{0 \times (0.0 + 0.0)} = \#DIV/0!$ 室指数 $K = X \times Y / H \times (X + Y)$ X= 室の間口(m) Y= 室の奥行(m) H= 作業面から照明器具までの高さ(m)
		1枚目の照明区画2の面積がコピーされます	12 6 0					
	天井面、壁面及び床面の反射率が50%以上 天井面、壁面及び床面の反射率が30%以上50%未満、かつ、床面の反射率が10%以上 上記に掲げるもの以外	12 6 0	「反射率」とは、天井面、壁面及び床面における個々の部材の反射率をそれぞれ面積加重平均したものとする。					
	照明区画の面積 * 240㎡			ポイント(点数の合計)	(A)	12	照明区画が二以上ある場合は、照明区画毎に別葉で作成し、* を記入する。	
	補正点			(B)	80	照明区画が二以上ある場合の ** は、照明区画毎のポイント(A)の合計を面積加重平均した数値とする。		
ポイント ** (A) + (B)								

	項目	措置状況	配点	得点	措置の概要	備考	
(1)照明器具の照明効率	光源の種類	総合効率が100 lm / W以上のものを採用	12	6	1枚目の照明区画3の名称がコピーされます	1 「総合効率」とは、蛍光灯ランプの全光束を蛍光灯ランプと安定器の消費電力の和で除した数値 2 「LED型ランプ」とは、電圧を加えた際に発光する半導体素子を用いたランプをいう。	
		総合効率が90 lm / W以上100 lm / W未満のものを採用	6				
		コンパクト型の蛍光灯ランプ、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプを採用	6				
		LED型ランプを採用	6				
		上記に掲げるもの以外	0				
	照明器具の器具効率	下面開放器具	0.9以上	12	0	照明区画3のポイントを選択します	1 「器具効率」とは、照明器具から出る総光束(単位 lm)を蛍光灯ランプ、メタルハライドランプ又は高圧ナトリウムランプの定格光束(単位 lm)で除した数値とする 2 「下面開放器具」とは、下面にカバー等が付いていないものをいう。 3 「下面カバー付器具」とは、下面に透光性カバーが付いたものをいう。
			0.8以上0.9未満	6			
[器具効率・総合効率の調べ方] http://denko.panasonic.biz/Ebox/catalog/ 「品番で探す」タブの空白欄に該当の品番を入力し、検索をクリックしてください。 該当品番の「詳細を見る」をクリックしてください。 「配光データ」より器具効率・「小組」より総合効率を参照してください。							
		上記に掲げるもの以外	0				
(2)照明設備の制御方法	7種類の制御方法のうち3種類以上を採用		22	0		7種類の制御の方法(カード、センサー等による在室探知制御、明るさ感知による自動点滅制御、適正照度制御、タイムスケジュール制御、昼光利用照明制御、ゾーニング制御及び局所制御のことをいう。)	
	7種類の制御方法のうち1種類又は2種類を採用		11				
	上記に掲げるもの以外		0				
(3)照明設備の配置、照度の設定及び室内装仕上の選定	照明設備の配置、照度の設定	事務室の用途に供する照明区画の面積の9割以上に対してTAL方式を採用	22	0		「TAL方式」とは、タスク・アンビエント照明方式をいう。	
		事務室の用途に供する照明区画の面積に対して5割以上9割未満に対してTAL方式を採用	11				
		上記に掲げるもの以外	0				
	室等の形状の選定	室指数が5.0以上	12	0	$\text{室指数} = \frac{0.0 \times 0.0}{0 \times (0.0 + 0.0)} = \#DIV/0!$	室指数 $K = X \times Y / H \times (X + Y)$ X= 室の間口(m) Y= 室の奥行(m) H= 作業面から照明器具までの高さ(m)	
		室指数が2.0以上5.0未満	6				
		上記に掲げるもの以外	0				
		天井面の反射率が50%以上	12	0		「反射率」とは、天井面、壁面及び床面における個々の部材の反射率をそれぞれ面積加重平均したものとする。	
		天井面の反射率が30%以上50%未満、かつ、床面の反射率が10%以上	6				
		上記に掲げるもの以外	0				
照明区画の面積 *		180㎡	ポイント(点数の合計)	(A)	6	照明区画が二以上ある場合は、照明区画毎に別葉で作成し、*を記入する。	
補正点			(B)	80	照明区画が二以上ある場合の**は、照明区画毎のポイント(A)の合計を面積加重平均した数値とする。		
ポイント ** (A) + (B)							